



元副市長の不正疑惑 次々と明らかに

新聞やテレビでも度々取り上げられている河内久男・元副市長をめぐる不正疑惑。日野市政の大問題です。市議会での追及や市が設置した第三者委員会の調査によって次々と新事実が明らかになる中、その疑惑は保育・福祉にまで及び、市政全般に広がっています。

市立病院をめぐる

3527万円を騙し取っていた!

河内氏は、日野市で12年にわたって副市長をつとめ、その後も昨年まで10年間、市立病院で働いていました。同時期に、川辺堀之内区画整理組合で理事長相談役として働いていたことも発覚。これは兼業禁止を定めた地方公務員法違反です。

区画整理組合で仕事している時間帯も市立病院で勤務していたと装い、その分の賃金まで請求していた事実も明らかになりました。不当に通勤手当を請求した分も含めると、3527万円もだまし取っていたのです。市は、10月16日、返還を求め提訴しました。

日当6万円のヤミ手当も

河内氏は、市立病院で院長相談役（臨時職員）として週3日、月額28万円（後に36万円）の契約で働いていましたが、契約日以外にも1日6万円の日当（総額2,568万円）を秘密裏に受け取っていた（ヤミ手当）ことも判明しました。

川辺堀之内区画整理組合をめぐる

8年間で2億1500万円の高額報酬!

川辺堀之内区画整理組合からは、最高で年額4400万円、8年間の総額で2億1500万円もの報酬を受け取っていたことも判明しました。

そのうち、1億8300万円は、理事会の承認なく不当だとし、現在、組合が返還を求め提訴しています。この組合の区画整理事業に、日野市は4億1100万円の助成金を支出してきました。その正当性が問われています。

税金分の補填まで

報酬を得れば、税金を支払うのが当然ですが、その支払うべき税金分を、手当として補填していたことも判明。河内氏分だけで2,729万円にもおよび、都から不当であり返還するよう勧告を受けました（6月2日に返還）。

たかはた保育園の民営化をめぐる

6億円もの巨額な補助金支出!

6年前に実施された市立たかはた保育園の民営化。新しい保育園の整備にあたって、建設費、私道整備費、家賃補助費など常識を超える6億円もの市の補助金が投入され、議会でも大問題になりました。この民営化についても、河内氏が関わっていたことが明らかになりました。第三者委員会の調査の中で、河内氏本人が、市長の特命に基づき、たかはた保育園の民営化に関わっていたと証言したのです。



この民営化は、場所、保育園、建設業者の選定のすべてが随意契約（競争入札によらず任意で決定した相手と契約）で行われていました。河内氏がどのように関与したのか、新たな疑惑が生じています。



市政の私物化は断じて許せません！
元副市長疑惑の徹底解明で
清潔・公正、暮らし優先の市政へ

コロナ禍の下、暮らし、営業は大変深刻になっています。
こんな時に、市政を歪め、税金を私物化した重大疑惑。
徹底的な真相究明で、清潔・公正、暮らし優先の市政へ、全力を尽くします。

日本共産党

巨額の報酬が不正に支払われて…

この8年間で約3億円もの報酬

市立病院の臨時職員として7年間で8,123万円、川辺堀之内区画
整理組合から8年間で合計2億1,500万円。合わせると、河内元副市長
はこの8年間で、2億9,623万円の報酬を得ていたことが判明しまし
た。

そのうちの2億円以上は違法・不当なものであるとして、日野
市、区画整理組合が、それぞれ河内氏を提訴する事態となっています。



法やルールがねじ曲げられて…

地方公務員法、区画整理法など無視

巨額の税金等を私物化するために、法律や条例、ルールはことごとく
ねじ曲げられ、無視されてきたことが明らかになりました。市立病院で
臨時職として働きながら、川辺堀之内区画整理組合で報酬を得て仕事
をしていたことは、兼業を禁止した地方公務員法違反であり、市も「地方
公務員法38条に違反する」と認めています。

また、理事会の承認を得ず報酬を得ていたことは明確な土地区画整理
法違反で、組合が提訴する事態となっています。その他、6億円の税金
を投じた、たかはた保育園の民営化問題では補助金適正化法違反が問
われています。



物言えぬ職員体制がつくられて…

「元副市長には逆らえない雰囲気を作られ、 違法行為を抑止できなかったのではないか」

〔第三者委員会報告書より〕

なぜ、これだけの巨額の税金・公金の私物化が行われ、法律や条例違反がまかり
通ったのでしょうか。その背景に、3期12年にわたって元副市長を務めた人物に対
し、物が言えない構造・体質が市政全体に巣食っていたのです。第三者委員会のヒア
リングを受けた元幹部職員は「（河内氏の）雇用は臨時職員でも絶対的な存在」だっ
たと証言しました。

「ほんとうに知らなかったのか」

「見て見ぬふりをしてきたのではないか」



歴代市長の
責任は重大

市政の最高幹部を務めてきた河内氏が、市
役所を辞めた後も長年にわたって市政全般に
深く関わり、私腹をこやしていたのではない
かという疑惑です。区画整理では、大坪市長
の下で副市長を務めた堀之内前副市長も関
わっていたことも明らかになっています。

こうした一連の問題について、馬場前市長、
大坪現市長は、「まったく知らなかった」と言っ
ていますが、河内氏自身が市長の特命を受け
て関わったと言っているのです。
市政の根幹を揺るがす大問題であり、歴代
市長の責任が問われる重大事態です。